

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	教育委員会		
	課名	生涯学習課		
	係名	公民館係		
	記入者		電話(内線)	33-3191

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続		(2) 事務事業 の名称				公民館整備事業				(3) 事業の 優先度		A					
(4) 総合計画での位置づけ								(6) 事業主体			市							
① 事業の区分		主要事業								(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質		普通建設事業費(ハード事業)					
② 施策コード		42104		(総合計画掲載ページ 106 ページ)							会計区分		一般会計					
基本目標(政策)		4		未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文化)							財源区分		市単独					
基本施策		2		生涯を通じてともに学べる環境づくり(生涯学習・地域教育・青少年の健全育成)							予算科目		款 10 項 5 目 4					
施策				自ら学ぶ機会の充実							予算書上の		公民館整備事業費					
施策内容				公民館の整備							事業名称		(予算書 176 ページに掲載)					
(5) 事業期間		開始		平成	26	年	4	月から				(8) 事務分類			自治事務			
		終了			31	年	3	月まで (	5 力年)					根拠法令				

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象 (だれに対して・何に対して行うのか)	(3) めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)
市民 市立公民館 地区分館	現在の結城市立公民館に代わる新公民館を建設するとともに、現在、公民館が設置されていない、絹川・上山川・江川地区にも公民館(分館)を整備し、生涯学習及び地域コミュニティの拠点として、市民の誰もが、身近に、気軽に公民館を利用できるように整備を行う。
(2) 手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)
結城市立公民館施設検討委員会、庁内検討委員会を開始し、「結城市立公民館施設整備基本構想」及び「同基本計画」を策定する。	結城市立公民館は、昭和45年10月に建設され、築45年が経過することから、建物及び設備の老朽化が進んでいる。 また、耐震診断において、耐震性能が確保されていない建物であると判定されており、安全性を考え、早急に対策をとる必要がある。
(5) 事業をとりまく環境の変化 (社会環境、市民ニーズ等) や市民・議会の要望、意見等とそれに対する対応	
結城市立公民館が築45年を経過し、施設や設備の老朽化が進んでいること方、市民が安全かつ快適に公民館を利用できるよう、市立公民館を早急に整備していくとともに、絹川地区、上山川地区、江川地区には公民館が未設置であることから、生涯学習事業の全市的な展開ができないことが課題となっている。	

3. 事業コスト

行政評価		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映					
実施計画											
● 予算内訳		実績額（千円）		当初予算額（千円）		計画額・見込額（千円）					
事業内容		26 年度		27 年度		28 年度		29 年度		30 年度	
（１）事務事業費	事業費	146		240							
	消費品費			9							
	委託料			1,015							
	工事費										
	地区分館改修事業										
	駐車場整備事業										
	合計	146		1,264							
	財源	国庫支出金（千円）									
県支出金（千円）											
地方債（千円）											
その他特定財源（千円）											
一般財源（千円）		146		1,264							
合計（千円）		146		1,264							
補助・起債制度名											

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）									
指標の名称				単位	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）									
指標名	公民館整備に関する懇談会、講演会、検討委員会及び利用者連絡協議会等の開催数	目標値	回		9	3	3	3	
		実績(見込)値		6	9				
	公民館施設整備に関する委託・工事の発注件数(建設・解体)	目標値	件		1	4	2	2	
		実績(見込)値		0	1				
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）									
指標名	絹川・江川・上山川地区分館の数	目標値	カ所		0	0	3	3	
		実績(見込)値		0	0	0	3	3	
		達成率		0.0 %	0.0 %				
	市立公民館の建設	目標値	棟		0	0	0	1	
		実績(見込)値		0	0	0	0	1	
		達成率		0.0 %	0.0 %				
5. 事業評価									
(1) 平成26年度の行政評価結果をうけて、平成26年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。									
社会教育講演会「地域に根差した公民館のすがた」の開催や、市民代表等によって構成される『結城市立公民館施設整備検討委員会』等を開催し、公民館及び地区分館の整備方法についての検討を行った。									
(2) 項目別評価									
評価項目・客観的評価				理由					
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	公民館の老朽化が進んでおり、早急に対策をとらなくてはならない					
妥当性	実施主体の妥当性	A	妥当である	公民館利用者の安全確保は、市が責任を持って行わなくてはならない					
	手段の妥当性	A	妥当である	広く速やかに市民や関係機関の意見を取り入れるには、妥当な方法である					
効率性	コスト効率 人員効率	B	どちらとも言えない	基本計画や基本設計の策定には、法的な手続きや専門的な知識が必要なため、コンサルタントに委託する必要がある					
公平性	受益者の偏り	A	偏りは見られない	公民館は、全市民が利用する施設である					
有効性	成果の向上	A	上がっている	計画策定に反映させるため、懇談会や講演会、アンケートを実施し、市民や専門家の意見が、速やかに集約されている					
進捗度	事業の進捗	B	どちらとも言えない						
(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。									
市立公民館は全体として老朽化が進んでおり、現行法が求める耐震が確保されていない建物であると判定されている。利用者は高齢者が多く、かつ高齢化が進んでいるので、今後、高齢者が利用しやすいように施設のバリアフリー改修が必要であるが、現公民館では改修が難しいので、新たな公民館を建設するため、市民や専門家の意見を集約、基本計画・実施設計を作成する。									
また、絹川地区・上山川地区・江川地区の市の既存施設を利用して、地区分館を整備していく。									
(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？									
市立公民館の建て替えには多額の費用を要するので、起債等の導入可能な財源を活用し、市財政の負担を軽減していく。									
6. 事業の方向性判断									
評価主体		27年度以降の事業の方向性			評価理由・根拠				
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う		改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減)			注) 記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。				
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う		改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減)			市民が、安全かつ快適に公民館を利用するためには、新公民館の建設が必要である。				
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う					上記評価のとおり				